

# エフェソ：継続する教えと問われる忠誠

エフェソはパウロの宣教でなぜ重要だったのですか。

エフェソはパウロが長く教えた拠点となり、キリストに従うことが公の生活や経済的利害に影響した場所です。使徒言行録とコリントの信徒への手紙一は、この都市を広域の宣教と結び付けます。エフェソの信徒への手紙の宛先は、それとは別の問題です。

## 時間をかける奉仕

短い訪問の後、使徒言行録は、ティラノの講堂での議論を含むエフェソでの長期的な教えを描きます。アジア州に知らせが届いたという要約のアジア州は、現代の大陸ではなくローマの属州です。パウロの滞在は広い宣教を支えましたが、本文は個々の宣教旅行をすべて記録したり、地域の全共同体を本人が訪れたとしたりはしていません。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 18章19～21節・使徒言行録 19章1～10節

出典: acts

## 信仰と経済的利害

デメトリオと銀細工師の出来事は、アルテミス信仰、市民としての誇り、収入が絡む対立を示します。使徒言行録は魔術の実践を捨てたことも語ります。これらを、全住民や全役人への敵意という単純な図式にははいけません。町の書記官は集会を解散させるために行動します。回心には社会的な影響があり、地元の人々の反応もさまざまです。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 19章18～41節

出典: acts

## 手紙と牧会の責任

コリントの信徒への手紙一は、パウロが当時エフェソにいたことを示します。使徒言行録が後に描くエフェソの長老たちとの別れは、エフェソ市内ではなくミレトスでの出来事です。エフェソの信徒への手紙は、初期の一部の写本が都市名を欠くため宛先が議論され、著者にも異論があります。この問題と、よく裏付けられた宣教の舞台は区別しましょう。キリストを中心に教えることは、忍耐強く人を育て、弱い立場の人を守る配慮を求めます。

聖書の参照箇所: コリントの信徒への手紙一 16章8～9節・使徒言行録 20章17～38節・エフェソの信徒への手紙 1章1節

出典: letters, acts, brown

## 出典

- [acts] Acts 7–28; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/ACT.htm>
- [letters] Romans through Philemon; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/>
- [brown] Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997), chapter 28, “To Whom and By Whom?”.

---

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters · CC BY 4.0 · <https://paulineletters.com/ja/explore/resources/ephesus>